

CITIZEN®

電波時計 取扱説明書
(温湿度表示付き電子音目覚まし時計)

ご購入いただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1209)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、ご購入上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

ご購入上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

（フリーダイヤル）
受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、商品の裏面または底面に表示してあります
製品番号（型番）をお伝えください。例 4RL000、4RLA00

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
●は、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液に直接触れないでください。

ゴム手袋をして電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、ご購入上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

禁止 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

分解禁止 分解したり改造しない
けがや故障の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。

温度と湿度について

本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。

センサーが本体内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 [HH.H] 50℃より高温 [LLL] -9.9℃より低温

湿度 [HH] 90%を超えている [LL] 20%未満

湿度は温度が5～45℃のときに表示します。範囲を超えたときは「-」を表示します。

直射日光が当たる所や温室、浴室など高温高湿になる所で使用しないでください。また、冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の温度と湿度を反映しにくくなります。

○空気がよく循環する場所に設置してください。

○設置する高さによっても温度、湿度が変わります。

※湿度は相対湿度です。「% RH」が単位ですが、天気予報など一般的には「%」が使われています。

※厳密な温度湿度の管理や証明、商取引には使えません。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様	ご氏名	様
	ご住所	
	TEL ()	-

※販売店印（住所、店舗名、電話番号）

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 1.保証書のご提示がない場合。
 - 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
 - 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
 - 8.電池の交換
- ※ 送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池・時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと	電波受信機能	電波を受信して時刻を自動修正
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	受信局	福島局/九州局 自動選択
	秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度	受信ON/OFF	可能
	標準電波を受信しない場合	受信結果確認	2.5時間以内に受信に成功しているときに、スヌーズボタンを押すと受信確認音が鳴る
	平均月差 ±20秒（常温中のクォーツ精度）	受信回数	最少 1日1回 最多 1日6回
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1個	受信開始時刻	2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒に受信開始
電池寿命	約1年 受信に成功し、7時間/日秒針停止		*2時16分20秒は必ず受信を行う
アラーム機能	アラーム音 電子音（鳴り方が変化）	温湿度表示	LCD（液晶）デジタル表示
	アラーム精度 表示時刻に対して0秒	測定間隔	約30秒
	スヌーズ あり（止めてもまた鳴る）	温度	表示範囲 -9.9～50℃
	オートストップ あり（自動鳴り止め）	湿度	表示範囲 20～90%RH（湿度が5～45℃のとき）
	音量調節 なし	湿度精度	±8%RH 表示範囲内
照明機能	LED光源		
秒針停止	アラームスイッチONで12時(0秒)位置に停止		
電池交換時期	なし		
お知らせ機能			

※LCD の可視温度範囲は0～40℃です。低温になると表示が薄くなったり消えたりします。また、高温では、濃くなったり、むらになったりします。

※LCD は5年を過ぎるとコントラストが低下します。

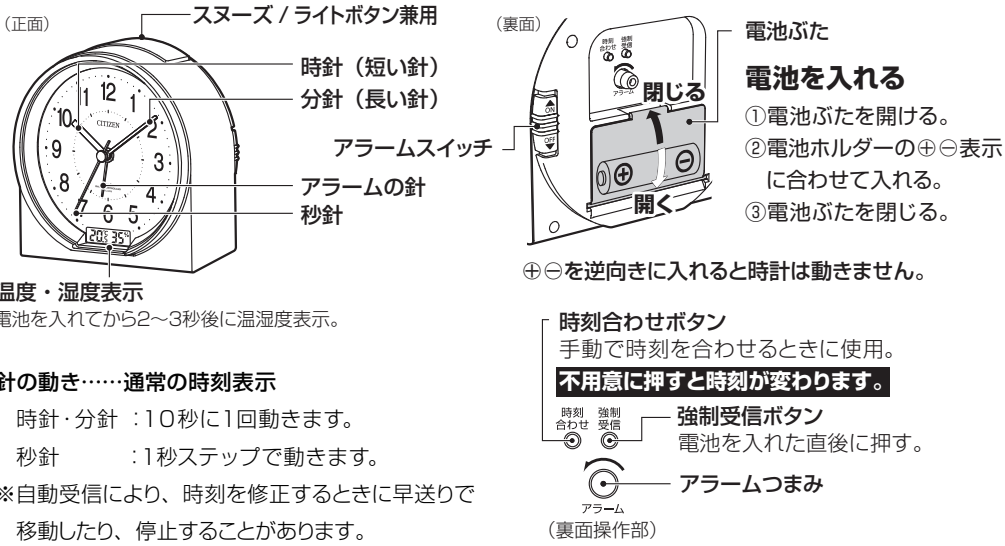
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 1個 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

各部の名称と役割

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



1 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる時には**「手動での時刻合わせ」**をお読みください。電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**
- 強制受信ボタンを押す**
確認音が鳴り、針は4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。電池を入れた後は、誤作動防止のため必ず強制受信ボタンを押してください。
- 受信が終わるまで待つ**
最長で約16分受信を行います。受信が終わると針が早送りで時刻位置に移動してから時を刻み始めます。受信中は、操作ボタンを押さないでください。
- スヌーズボタンを2秒以上押しして受信結果を確認する** **受信の流れと結果の確認** 参照
受信に成功した場合、受信確認音が鳴ります。失敗した場合は鳴りません。受信に失敗した場合は **電波を受信できない場合** を参照。

○受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
○受信が成功しているのに、時刻が正しくないときは、ノイズにより誤受信した可能性があります。強制受信ボタンを押して、再度受信させてください。

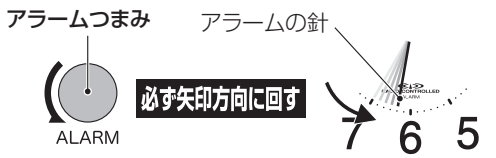
2 アラーム機能を使う

アラーム時刻の設定

アラームつまみを、必ず矢印の方向に回して、アラームの針をアラームを鳴らす時刻に合わせてください。

操作例 6時20分にセット

アラームの針を7時に合わせ、6時方向に4回「カチ」とさせてください。
○アラーム時刻は10分単位で設定できます。
○10分単位に「カチ」とクリック感があります。

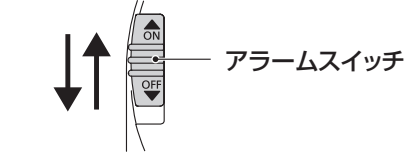


アラームつまみを逆に回すと、アラーム精度が悪くなることがあります。

アラーム音の試聴

- アラームスイッチをOFFにする。
- アラームの針を時計の時刻に合わせてください。
- アラームスイッチをONにする。
アラームを止めるときはOFFにする。

アラームスイッチの設定



ON 設定時刻にアラームが鳴る。
ONにすると確認音が鳴ります。
秒針は12時(0秒)位置に停止します。
OFF 鳴らさない、鳴っているアラームを止める。

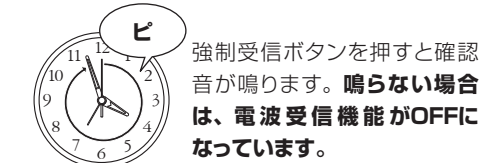
オートストップ機能…自動鳴り止め

鳴っているアラームを放置すると、約5分間鳴り続けて止まります。アラームスイッチはONのままです。

スヌーズ機能…止めてもまた鳴る

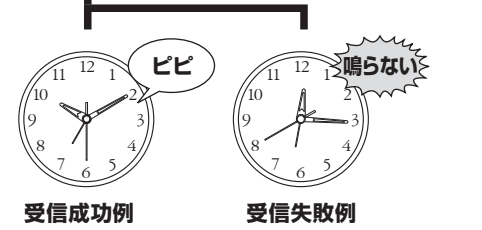
アラームが鳴っているときにスヌーズボタンを押すと、約5分間アラーム音を停止して、また鳴り出します。この機能は、アラーム時刻から20〜60分間繰り返し使えます。

受信の流れと結果の確認



4、8、12時のいずれかの時刻に移動して停止して、受信を開始します。

最長16分後に受信終了 時刻を表示
スヌーズボタンを2秒間押しして受信結果を確認する。



操作に伴う音について

●**確認音**は、電池を入れたとき、強制受信ボタンを押したとき、アラームスイッチをONにしたときに、電子音が1回鳴ります。

●**受信確認音**は、25時間以内に標準電波の受信に成功しているときに、スヌーズボタンを2秒以上押し続けると電子音が2回鳴ります。
受信に失敗している場合や電波受信機能がOFFのときには鳴りません。

設置場所について

転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に置いてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

電波を受信できない場合

●**朝までそのまましておく**
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える**
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所になるべく時計の正面または裏面が向くように置き、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

●**時刻を合わせて使用する**
屋外、たとえばベランダなどで標準電波を受信させるか、手で時刻を合わせてください。通常のクォーツ時計としてご使用になれます。

手動での時刻合わせ…電波を受信できないときや任意の時刻に合わせてとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手で時刻を合わせることができます。

- 標準電波を受信できない場合の時間精度はクォーツ精度になります。
- 受信機能がONのときは、手で時刻を合わせても、電波の受信に成功すると時刻を修正します。

手順
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。このとき秒針は止まります。
④ボタン操作をしていないのに、針が早送りしているときは、通常の動きになってから操作してください。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れた時点でゼロ秒から秒を刻み始めます。秒針が12時位置に止まっていなかったときは、秒針は早送りして現在時刻に移動します。

電波受信機能のON/OFF操作

工場出荷時の設定は、受信機能はONになっています。

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

- 強制受信ボタンを連続して4回押してください。
- 2回目からは、確認音が鳴り始めたらすぐに押してください。
- 受信機能がOFFになると、強制受信ボタンを押しても確認音が鳴りません。
 - 時刻は手動で合わせてください。
 - 受信機能がOFFのとき、電池を取り外してもすぐには工場出荷時の設定には戻りません。時間が経過して回路内に電荷がなくなると出荷時の設定に戻ります。
 - 受信機能がOFFのときに、強制受信ボタンを押すと早送りでおおよそ12時間分動き、その後、通常の時刻表示になります。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

時刻合わせボタンを押しながら、強制受信ボタンを押してすぐ離し、その後時刻合わせボタンを離します。確認音が鳴り、照明が点滅します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

- この説明の中で「押す」は「押してすぐ離す」ことを意味しています。
- 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

アラームご使用上の注意

- アラームスイッチがONのときは、午前と午後の2回アラームが鳴りますので、使用しないときはOFFにしてください。
- アラームの音量は調節できません。
- 時刻合わせボタンで時刻をアラーム時刻に合わせてもアラームが鳴りません。アラームスイッチをOFFにしてからONにするとアラームが鳴り出します。
- アラームスイッチをONにすると秒針が止まるのは、電池の消耗を抑えるためです。

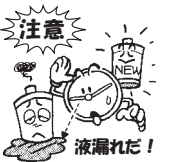
3 照明機能を使う

スヌーズボタンはライトボタンを兼ねています。ボタンを押している間と離してから約4秒間照明ランプが点灯します。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。



電波時計とは

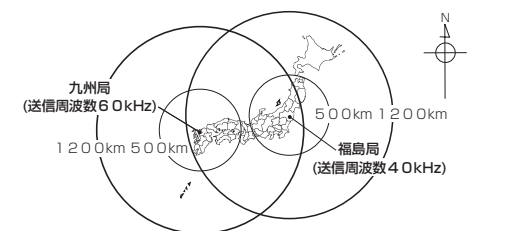
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になる際には、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせお使いください。受信機能がONの状態では、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。